



株主の皆さまへ



第155期事業報告書

中間期

平成14年1月1日から平成14年6月30日まで

To Our Shareholders

株主・投資家の皆さまへ

静岡ガスはクリーンエネルギーである天然ガスを地域に広く普及させることを使命に、熱・電気・蒸気など多様な形態で最適なエネルギーを提供する「総合エネルギー事業」を展開しております。引き続き、高品質なサービスの提供とエネルギーの安定供給、地球環境の保全に努めるとともに、株主価値の増大にも注力してまいります。

このほど第155期中間事業報告書を作成いたしました。ご高覧いただき、株主・投資家の皆さまの当社に対するご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

何卒一層のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 大石司朗

Contents

目次

社長対談	1
特集	
天然ガスをより多くの お客さまに	4
トピックス	6
商品・サービスのご紹介	8
当期の業績	10
連結財務諸表	12
単体財務諸表	15
株式の状況	16
会社概要	17





天然ガスで地域に貢献しています

今回から始まった「社長対談」。毎回ゲストをお迎えし、さまざまな角度から当社の事業にスポットを当てていきます。第1回は、キャスターとしてご活躍のSBS静岡放送・水野涼子さんをお招きしました。（文中敬称略）

天然ガスを県内の各ガス事業者へ

水野：静岡ガスの供給エリアは静岡市から三島市にかけての静岡県中東部とのことですが、県内に都市ガス会社は何社ありますか？

大石：当社を含めて10社あります。

水野：たくさんありますね。最近、私の家も天然ガスに切り替わりました。天然ガスはCO₂やNO_xなどの排出量が少ないクリーンなエネルギーとして注目されていますが、県内の他のガス会社も天然ガスを使っているのでしょうか？

大石：県内では中部ガスさんがすでに転換を進めていて、

他のガス会社も来年から順次転換を予定しています。

水野：私はオイルショックの年、石油に頼りきっていた時代に生まれました。石油から天然ガスへと時代が移りつつあるなか、県内にも天然ガスが広がっているのですね。

大石：そうです。しかし、県内に天然ガスの受入基地を持つのは当社だけです。天然ガスはマレーシアで産出され、大型船で東燃ゼネラル石油(株)との共同出資による「清水エル・エヌ・ジー株式会社」の受入基地に運び込まれます。当社ではこの受入基地から、他社にも天然ガスをお届けしています。すでに昨年



より浜松市の中部ガスさんにLNG(液化天然ガス)を販売し、当社の関係会社である袋井ガスや中遠ガス、さらに東海ガスさんにも来年度から販売する予定です。2006年には熱海ガスさんにも販売する計画です。

水野：大きなLNG運搬船が入港できるのも、国際貿易港の清水港があればこそですね。

大石：清水港は水深約22mと非常に深く、大型LNG船の接岸が可能です。大型LNG船が入ることができる港は、東京と名古屋の間では清水にしかなく、当社の大きな強みとなっています。

工業用の販売量が多いのが特徴

水野：ところで、全国では何社くらいガス会社があるのでしょうか？

大石：233事業者です。

水野：これだけ多くのガス会社があるなかで、静岡ガスの特徴としては、LNG基地のほかにもどのようなものがありますか？

大石：当社のお客さまの戸数は約29万戸で、全国第10位です。しかし、ガス販売量では全国第6位となっています。これは、1戸当たりの販売量が多い、つまり、工業用の需要が多いためです。ガス販売量全体のうち工業用の割合は当中間期で62%と、2001年の全国平均(37.8%)を大きく上回っています。大都市と比べて世帯数は少ないものの、静岡県内には大きな工場が多数あります。例えば、当社が来年から供給を開始する予定の工場では、一般家

庭の10万戸分に相当するガスをお使いいただきます。こうした工業用の販売が多いのが、当社の大きな特徴です。

水野：工業用の販売が多いことで、どのようなメリットがあるのでしょうか？

大石：工業用のお客さまは、ガスの使用量に季節的・時間的変動が少ない傾向にあります。ガス会社はピークの需要に合わせて設備をつくりませんが、工業用販売はフラットな需要が見込めるため、設備の効率的な運用が図れ、経営を安定化させるメリットがあります。

水野：水資源の豊富な富士市周辺には多くの工場が立地していますが、こうした工場で天然ガスが使われると、CO₂削減にも役立ちますね。

天然ガスでエネルギーの有効利用を

水野：ガスは一般に生活に密着したものという印象があります。最近は「オール電化住宅」も話題になっていますが、ガスのメリットはどんな点にあるのでしょうか？



大石：ガスはパイプラインで運ばれるため、ご家庭にお届けするまでにほとんどロスがありません。また、お客さまがご使用になるガスコンロ、ガス給湯器、ガス冷暖房機など、ガス機器自体の熱効率も向上しています。ガスは総じてロスが少なく、電気など他のエネルギーと比べると、資源を有効に使っているエネルギーだと思います。当社が普及に力を入れているコージェネレーション(熱電併給)システムでは、天然ガスを使って熱と電気を同時に取り出せますので、より有効にエネルギーを使うことが可能です。また、現在、急速に開発が進んでいる燃料電池も一種のコージェネレーションシステムです。燃料電池に使う水素は天然ガスから取り出すことができます。天然ガスの新たな利用形態として、マンションや一般家庭に普及する日もそう遠くはないものと期待しています。

水野：ニュース番組で天気予報も担当して、真夏日が増えているというデータを知りました。一人ひとりの努力が地球環境の保全につながるわけですから、家庭でも天然ガスを使って、少しでもできることから取り組んでいきたいですね。

東海地震に備えて

水野：静岡県といいますと、東海地震が心配されます。LNGタンクなどの防災対策は大丈夫でしょうか？

大石：当県は地震防災対策強化地域に指定され、法律で各安全基準が高く設定してあります。当社のLNG受入基地はこうした基準を満たすだけでなく、それ以上に堅固なものを建設し、地震の揺れや液状化、高潮の発生に対応できる構造になっています。ガス管については、新設するものは耐震性を有す



水野涼子さん

SBS静岡放送 アナウンサー
担当番組「SBSテレビ夕刊」月～金

出身地：静岡県沼津市
趣味：静岡の地酒の研究、ゴルフ
「料理が好きで、今は和食の基本を勉強中です。火力の強いガスを使っています」
静岡市在住。

るガス管を使用し、既設管については、計画的に取り替えを進めています。また、ガス導管網をブロック化することにより、万一の場合には一部を遮断して被害を最小限にとどめるようにしています。各家庭にはマイコンメーターを設置し、地震発生時にガスを遮断するシステムとなっています。この他、毎年東海地震を想定した全社的な訓練を行い、緊急時の機動的な対応ができるよう努めています。

水野：環境だけでなく、防災への配慮も怠りないということですね。お話をうかがって、静岡ガスは環境にやさしい天然ガスを広め、また清水港や富士山といった静岡県の恵まれた環境を活かして地域と共に発展している会社だという印象を強くしました。本日はありがとうございました。

大石：こちらこそありがとうございました。



天然ガスをより多くのお客さまに ~ 清水 富士間に第二駿河幹線を建設中 ~

天然ガスの普及加速で、輸送体制の整備が急務に

地球温暖化など環境問題に対する取り組みが活発化するにつれて、クリーンエネルギーである天然ガスの普及が全国的に加速しています。静岡県内でも、工場が集中する富士、富士宮の両市などで、産業用を中心として需要が飛躍的に伸びています。

しかし、清水市にあるLNG受入基地から富士、富士宮市を含めた静岡県東部地区への当社の天然ガス輸送体制は、静岡 - 沼津間を結ぶ「駿河幹線」という高压輸送導管の1ラインのみというのが現状です。



将来を見据えた「第二駿河幹線」を建設中

こうした状況を踏まえ、静岡ガスは、天然ガス輸送能力と供給の安定性を確保するため、清水 - 富士間の輸送導管の二重化を計画。将来を見据えた“基幹パイプライン”として、2000年10月に「第二駿河幹線」の建設に着手しました。

建設予定ルートには、交通の要である国道1号線や県道富士由比線などがありますが、長期間の工事は、交通や沿線住民の生活に大きな影響を及ぼします。そこで、幹線道路や街中の道路沿いでの工事を避けて、山岳トンネルを主体とするルートを選択しました。総延長28kmのうち40%超が、山岳部または河川の下を通るトンネル内の配管です。

工事諸元

工事区間	始点	清水市袖師町1900 (清水エル・エヌ・ジー袖師基地)
	終点	富士市蓼原字下河原1146の1(吉原工場)
	計画延長	全延長28,143m (先行工事分1,822m含む)
仕様	口径	600mm
	設計圧力	6.86MPa
	材質	API 5L-X65 (米国石油協会規格による パイプライン鋼管)
	管厚	14.3mm、18.0mm
付属諸施設	ガバナステーション1カ所、 バルブステーション4カ所	

高度な技術力で、工事は順調に進行

ガス管専用トンネルは静岡県内では初めてであり、しかも4,000mを超えるトンネルは全国でも非常にまれで、随所に高度な技術が用いられています。

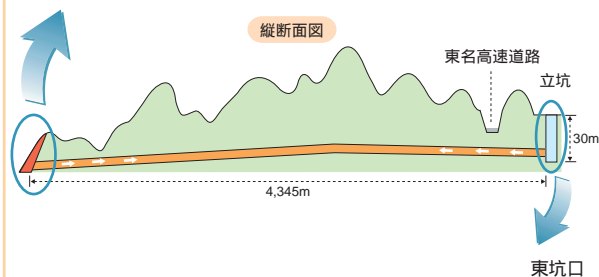
例えば、富士川の下地盤は非常に硬く掘り進みにくいのですが、立坑構築や掘進方法(シールド工法)などに最新の技術を駆使することによって、工事は順調に進んでいます。

2004年6月の完成を目指します

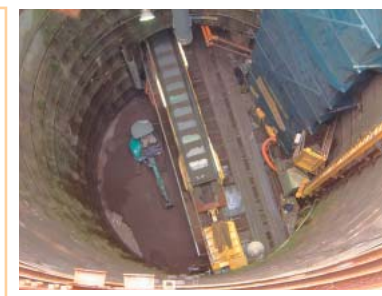
第二駿河幹線建設工事の竣工は2004年6月を予定しています。環境にやさしい天然ガスをより多くのお客さまに万全の体制でお届けするため、建設工事を安全に進めていきます。



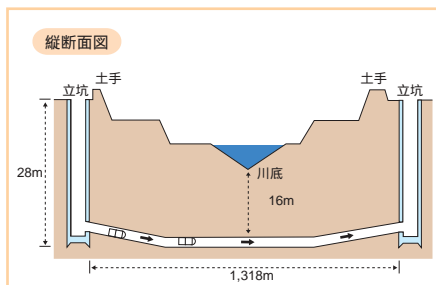
西坑口全景



蒲原トンネル



トンネル内の配管



富士川シールドトンネル

小口部門ガス料金を引き下げ

当社は、平成14年9月1日から、静岡市・清水市・富士市・富士宮市・沼津市・三島市・裾野市・袋井市・長泉町・清水町・函南町のお客さまを対象に、平均10.18%の小口部門ガス料金の引き下げを行いました。

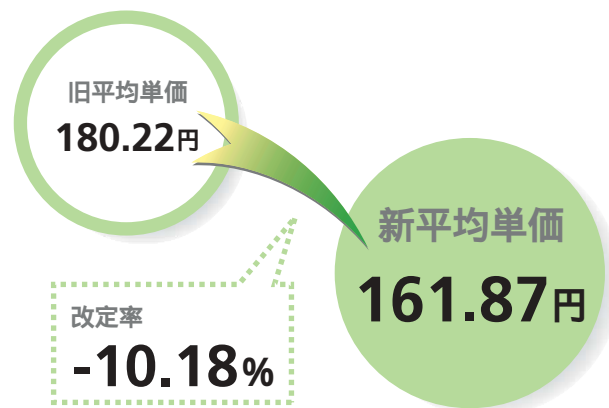
当社は、平成8年3月に、天然ガス導入事業に係る多額な設備投資を主な理由として、小口部門ガス料金の値上げを実施しましたが、同時に値上げ料金を期間限定的なものとし、21世紀初頭に料金レベルを元に復すことを最大の経営目標として臨んでいくことをお約束しました。

その天然ガス導入事業も、本年12月の熱量変更作業終了をもって無事完了する見通しとなりました。そこで、これまでのガス販売量の拡大や経営効率化によるコスト削減の成果をお客さまに還元するとともに、将来の経営効率化によるコスト低減効果を織りこむことにより、小口部門ガス料金の引き下げを行いました。

小口部門ガス料金：年間ガス使用量が100万m³未満のお客さまを対象にしたガス料金。

[ガス料金の改定内容]

小口部門の平均単価及び改定率(46MJ)



モデル標準世帯における月間支払額引き下げ幅
(46MJ地区の場合)

適用地区	月間支払額		引き下げ額
	現行料金	新料金	
静岡・清水・沼津・三島地区	10,552円	9,570円	982円
富士地区	10,835円		1,265円
富士宮地区	10,341円		771円

モデル標準世帯：夫婦と子供2人の4人世帯で1カ月のガス使用量を50m³と設定。
料金は消費税等相当額加算前の金額。

最小規模のコージェネシステムの実証実験を開始

発電能力が6kWと最小規模の天然ガスコージェネレーションシステムを使った実証実験を、清水市のコンビニエンスストアで開始しました。業務用でこれまで最小だった9.8kWと比べて、発電規模の小さなシステムの有効性を調べるのが目的。試験は2005年まで継続し、経済性、省エネ性を検証し、天然ガス拡販の新たな事業形態を探ります。



アンローディングアームの点検・整備を実施

LNG栈橋の主要設備であるアンローディングアーム(船で運ばれてきたLNGを積み降ろすための可動式アーム)の精密点検整備が行われました。今回の点検は、4本あるアームのうち1本。約2カ月間にわたり点検を行いました。アームの点検は一般的にはメーカーまで搬送して行われますが、今回は地元整備とメーカー整備に分けて実施したため、大幅なコストダウンを図ることができました。



天然ガス車普及へエコ・ステーションを新規開設

当社では、低公害車として普及が期待される天然ガス自動車の利用範囲を広げ、ユーザーの利便性を向上させるため、エコ・ステーション(天然ガス車用充填施設)の整備を進めています。こうしたなか、今年になり静岡市、清水市において新たに2カ所のエコ・ステーションが開設され、当社エリア内のエコ・ステーションは4カ所となりました。今後は、沼津市、三島市などの県東部にも整備を進めていきます。



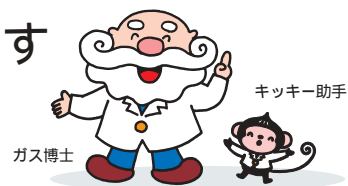
静岡流通センター エコ・ステーション

『環境アクションレポート2002～2003』を発行

環境行動指針などを紹介した「環境アクションレポート2002～2003」(A4判、25ページ)を発行しました。LNG受入基地での環境活動のほか、天然ガス普及による地域と地球環境の保全、高効率・省エネルギー型ガス機器システムの普及促進などの環境行動推進項目を掲載。廃棄物のリサイクル推進や社員の地域環境保全活動への取り組みなども紹介しています。



安全・安心・経済的！ 快適ライフをご提案します



「ガラストップガスコンロ(システムキッチン用)」は、幅75cmのワイドガラストッププレートを採用した、お手入れ簡単な多機能ガスコンロです。油污れやふきこぼれもサッと拭くだけでOK。従来のガスコンロのイメージを一新します。また、直火炊きのおいしいご飯が自動で炊ける機能や、調理油の温度を自由に設定する機能、過熱防止センサーなどを装備。料理の楽しさと安全性がさらに広がりました。



**ガラストップ
ガスコンロ**

「浴室暖房乾燥機」は、浴室暖房・衣類乾燥・浴室換気乾燥の各機能を備えた1台3役。ガス温水式だから、パワフル&スピーディー。入浴前に浴室暖房をしておけば、温度差による急激な血圧変化を緩和し、お年寄りやお子さまも安心して快適に入浴できます。また、入浴時以外はパワフルな温風で早く経済的に衣類を乾燥。いやなニオイ、カビの発生を抑え、浴室はいつもカラッと清潔です。新築・既築用ともに取り付けも簡単です。



浴室暖房乾燥機

リフォーム用簡単取り付け床暖房「はやわざ」は、「新築や大規模リフォームしないと床暖房は無理」というこれまでの常識を覆した画期的な商品です。床の上から重ねて貼るだけだから、8畳程度のスペースならわずか1日のスピード取り付けが可能。しかも、お求めやすいお手頃価格で人気の床暖房がぐっと身近になりました。通常よりお得なガス料金メニュー「床快(ゆかい)」もご利用いただけます。



現在の床材がフローリングの場合上から貼るだけ！

**リフォーム用床暖房
はやわざ**

「ガスヒーポン」は、家中をまるごとガスでパワフル冷暖房できる、新築時に最適なマルチエアコンです。室外機は1台だけで、室内機は最大で7台まで設置可能なので、外観はスッキリ。室内機の豊富なバリエーションも魅力の一つです。しかも省電力運転だから、電気代もお得です。気になるガス料金も、通常よりもお得なガス料金メニュー「空快(くうかい)」をご利用いただければ、空調以外の調理・給湯など、すべてのガス料金がまとめて低料金となります。

ガスヒーポン



室外機

どちらがいいの？

くらべれば、ガス

～エネルギーの上手な選び方 (Vol. 2)～

ガスコンロ

V/S

電磁調理器 (IHヒーター)



Q

電磁調理器は、鍋を選ぶって本当なの？

A

電磁調理器は、鍋底でしか熱が発生しないため、底が丸い中華鍋や磁石がつかないアルミ鍋や土鍋は使えません。また、一般的な電磁調理器用の専用鍋は多層ステンレス製。両手深鍋で2～3kgあり、重くて高齢者には不向きです。

電磁調理器で使えないもの



アルミ、銅製など



土鍋などの陶磁器



耐熱ガラス



丸底の中華鍋



底の直径が
12 cm以下



鍋底に4mm以上のソリや脚があるもの

Q

電磁調理器は、3つのコンロを同時使用できるの？



A

電磁調理器の3つのコンロは、全部使うと電力オーバー。全部で4.8kWを超えると自動的に火力が下がります。また、小ヒーターとグリルは切替式のため、同時には使えません。

同時使用時の火力制限

3つのヒーターを同時に使用すると、総電力が4.8kW以下になるようにヒーターの火力が自動的に落ちてしまいます。

例 $2.0\text{kW} + 2.0\text{kW} + 1.25\text{kW} = 5.25\text{kW}$
...能力ダウン

3口コンロ
の合計
5.25kW

IHヒーター
2kW

小ヒーター
1.25kW

IHヒーター
2kW

グリル
1.25kW

(金額は単位未満を切り捨てております)

当期の概況

当期のわが国経済は、輸出主導により底入れ感が見えたものの、先行きの不透明感が拭えず、設備投資は引き続き低迷し、個人消費も足どりが重く依然として厳しい状況で推移いたしました。

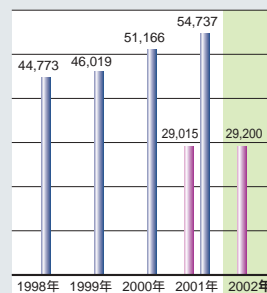
このような状況のもとで当社グループは、天然ガス供給基盤を強化し、工業用の拡販を中心に都市ガスの普及拡大に懸命に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期に比べて0.6%増の29,200百万円、経常利益は29.8%増の5,127百万円、中間純利益は56.4%増の3,110百万円となりました。

なお、中間配当金につきましては、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、当中間期の業績及び当期末の業績見通しを勘案して、前中間期に比べて1株につき50銭増額し、3円とさせていただきます。

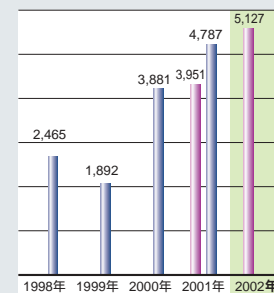
売上高

(単位:百万円)



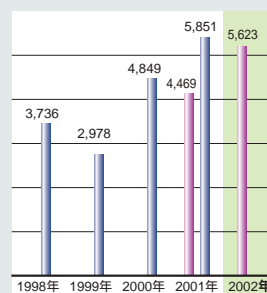
経常利益

(単位:百万円)



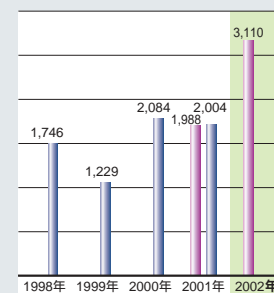
営業利益

(単位:百万円)



当期(中間)純利益

(単位:百万円)



■ 通期 ■ 中間期

2001年中間連結会計期間(2001年1月1日~2001年6月30日)より中間連結財務諸表を作成しているため、それ以前については記載しておりません。

各セグメントの業績

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

< ガス事業 >

お客さま戸数は、他燃料との競合が激化するなか、新たなお客さまの獲得に努め、グループ全体で当中間期中に3,136戸増加し、当中間連結会計期末には317,870戸となりました。

ガス販売量は、家庭用については、暖冬による影響と1戸あたりの平均使用量の減少などにより微減となったものの、工業用については、ボイラー・熱処理炉などの都市ガスへの燃料転換やコージェネレーションシステムなどの需要開拓により増加し、ガス販売量全体では前年同期に比べて3.8%増の206,847千m³となりました。

ガス売上高は、ガス販売量の増加と原料費調整(スライド)制度にともなう販売単価の上方調整などにより、前年同期に比べて1.4%増の21,711百万円、営業利益は17.5%増の6,179百万円となりました。

< 受注工事及びガス機器事業 >

受注工事及びガス機器事業については、医療・学校関係への空調機器などの販売が好調で、売上高は前年同期に比べて27.3%増の6,824百万円となりましたが、費用の面では原価を中心に増加したことにより営業利益は30.5%減の308百万円となりました。

< その他の事業 >

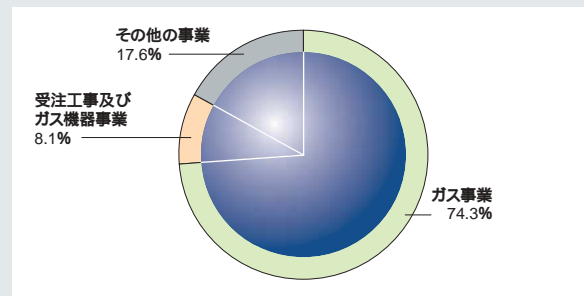
その他の事業については、LPG販売事業などで拡販に努めた結果、売上高は前年同期に比べて0.1%増の6,342百万円となりましたが、原料単価の低下などにより、営業利益は前年同期に比べて120.0%増の665百万円となりました。

事業のセグメント

各セグメントに属する主要な事業内容は、以下のとおりです。

ガス事業	都市ガスの製造、供給、販売
受注工事及びガス機器事業	ガス工事の施工 ガス機器の販売
その他の事業	LPG及びLNGの販売 車両、事務機器等のリース 空調工事の施工 住宅設備機器の販売、施工 不動産の賃貸

セグメント別売上高構成比



(注) 売上高の構成比は、外部顧客に対する売上高に基づいております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期 (2002年6月30日現在)	前期 (2001年12月31日現在)
(資産の部)		
固定資産	89,426	89,173
有形固定資産	79,966	78,867
製造設備	33,996	35,701
供給設備	26,239	25,409
業務設備	3,787	3,859
附帯事業設備	7,381	7,690
休止設備	362	376
1 建設仮勘定	8,198	5,829
無形固定資産	923	799
投資等	8,536	9,507
流動資産	16,490	14,501
現金及び預金	8,084	5,740
受取手形及び売掛金	4,393	4,553
たな卸資産	2,511	2,448
その他	1,499	1,758
繰延資産	283	180
資産合計	106,200	103,856

point 1

清水 - 富士間の輸送幹線「第二駿河幹線」(2004年6月完成予定)をはじめとする天然ガスパイプラインの拡充のための設備投資を行いました。

(単位：百万円)

	当中間期 (2002年6月30日現在)	前期 (2001年12月31日現在)
(負債の部)		
固定負債	53,794	58,233
長期借入金	50,107	54,181
その他	3,686	4,051
流動負債	25,288	21,032
1年以内に期限到来の固定負債	13,054	13,270
2 買掛金	4,493	2,285
短期借入金	2,254	624
その他	5,486	4,851
引当金	929	882
負債合計	80,011	80,148
(少数株主持分)		
少数株主持分	2,581	2,359
(資本の部)		
資本金	4,183	4,183
資本準備金	2,009	2,009
連結剰余金	15,696	12,886
その他有価証券評価差額金	1,719	2,269
	23,608	21,349
自己株式	2	1
資本合計	23,606	21,348
負債、少数株主持分及び資本合計	106,200	103,856

point 2

当中間期は決算日直前にLNG船を受け入れたことにより、増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (2002年 1月 1日 - 2002年 6月30日)	前中間期 (2001年 1月 1日 - 2001年 6月30日)
売上高	29,200	29,015
3 売上原価	13,063	14,009
売上総利益	16,137	15,006
供給販売費及び一般管理費	10,514	10,536
営業利益	5,623	4,469
営業外収益	200	193
営業外費用	696	712
経常利益	5,127	3,951
4 特別利益	402	86
特別損失	150	407
税金等調整前中間純利益	5,379	3,630
法人税、住民税及び事業税	1,885	1,356
法人税等調整額	23	0
少数株主利益	360	285
中間純利益	3,110	1,988

point 3 原料価格(LNG、LPG)の低下により減少しました。

point 4 土地及び保有株式の売却を行いました。

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (2002年 1月 1日 - 2002年 6月30日)	前中間期 (2001年 1月 1日 - 2001年 6月30日)
連結剰余金期首残高	12,886	11,258
連結剰余金減少高	300	207
配当金	247	158
役員賞与	53	49
中間純利益	3,110	1,988
連結剰余金期末残高	15,696	13,039

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (2002年 1月 1日- 2002年 6月30日)	前中間期 (2001年 1月 1日- 2001年 6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,379	3,630
減価償却費	4,564	4,669
長期前払費用の償却費	10	15
繰延資産の償却費	66	44
有形固定資産除却損	168	385
投資有価証券評価損	7	-
退職給与引当金の増減 額	-	2,842
退職給付引当金の増減 額	77	2,915
ガス熱量変更引当金の増減 額	46	55
受取利息及び受取配当金	67	73
支払利息	662	700
有形固定資産売却益	209	1
投資有価証券売却益	83	-
売上債権の増 減額	159	63
たな卸資産の増 減額	63	124
仕入債務の増減 額	2,066	209
未払消費税等の増減 額	892	662
その他	178	190
小計	13,344	8,916
利息及び配当金の受取額	60	60
利息の支払額	681	620
法人税等の支払額	1,322	1,185
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	11,401	7,170

point 5

前中間期に終了したLNGタンク2号基の投資に引き続き、今後の天然ガス拡販に向けて「第二駿河幹線」をはじめとする設備投資を行いました。

(単位：百万円)

	当中間期 (2002年 1月 1日- 2002年 6月30日)	前中間期 (2001年 1月 1日- 2001年 6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形・無形固定資産の取得による支出	6,685	20,845
有形・無形固定資産の売却による収入	258	20
投資有価証券の取得による支出	7	7
投資有価証券の売却等による収入	108	4
その他	315	224
5 投資活動によるキャッシュ・フロー合計	6,010	20,603
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減 額	1,630	415
長期借入れによる収入	2,400	19,150
長期借入金の返済による支出	6,690	5,353
配当金の支払額	245	157
少数株主への配当金の支払額	134	114
その他	1	-
6 財務活動によるキャッシュ・フロー合計	3,041	13,938
現金及び現金同等物の増減 額	2,349	506
現金及び現金同等物の期首残高	5,545	6,384
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	20
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,894	6,911

point 6

前中間期は、LNGタンク2号基の投資にともない多額の長期借入れを行いました。当中間期は、長期借入金の返済を増加させたため、支出が増加しました。

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 (2002年 6月30日現在)	前期 (2001年12月31日現在)
(資産の部)		
固定資産	51,918	49,904
有形固定資産	39,628	36,762
無形固定資産	733	616
投資等	11,556	12,525
流動資産	11,294	9,811
繰延資産	415	569
資産合計	63,628	60,285
(負債の部)		
固定負債	26,159	27,675
流動負債	17,744	14,419
引当金	71	148
負債合計	43,975	42,242
(資本の部)		
資本金	4,183	4,183
資本準備金	2,009	2,009
利益準備金	801	801
その他の剰余金	10,947	8,786
その他有価証券評価差額金	1,713	2,262
	19,655	18,043
自己株式	2	1
資本合計	19,653	18,042
負債・資本合計	63,628	60,285

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 (2002年 1月 1日- 2002年 6月30日)	前中間期 (2001年 1月 1日- 2001年 6月30日)
売上高	23,405	23,298
営業利益	2,968	2,238
経常利益	3,169	2,418
税引前中間純利益	3,541	2,226
中間純利益	2,439	1,531
前期繰越利益	521	437
中間未処分利益	2,961	1,969

(2002年6月30日現在)

会社が発行する株式の総数 240,000,000株

発行済株式の総数 70,692,950株

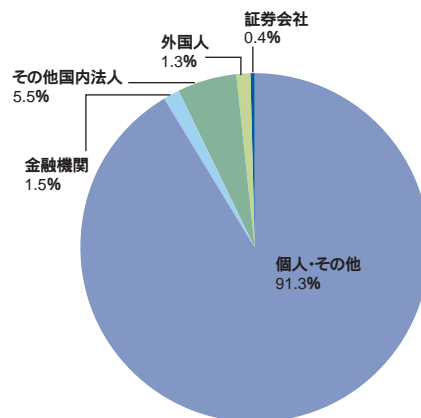
株主数 1,648名

大株主(上位10名)

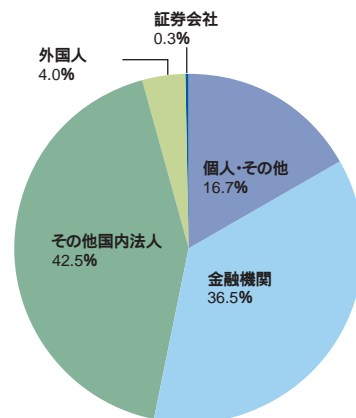
株主名	持株数	持株比率
第一生命保険相互会社	4,652千株	6.58%
エスジー保険サービス株式会社	4,563	6.45
三菱商事株式会社	3,768	5.33
株式会社みずほコーポレート銀行	3,534	4.99
東京瓦斯株式会社	3,000	4.24
東京電力株式会社	3,000	4.24
株式会社静岡銀行	2,682	3.79
株式会社UFJ銀行	2,584	3.65
鈴与株式会社	2,478	3.50
日本鋼管株式会社	1,836	2.59

株式の分布状況

(株主数の構成)



(株式数の構成)



(2002年6月30日現在)

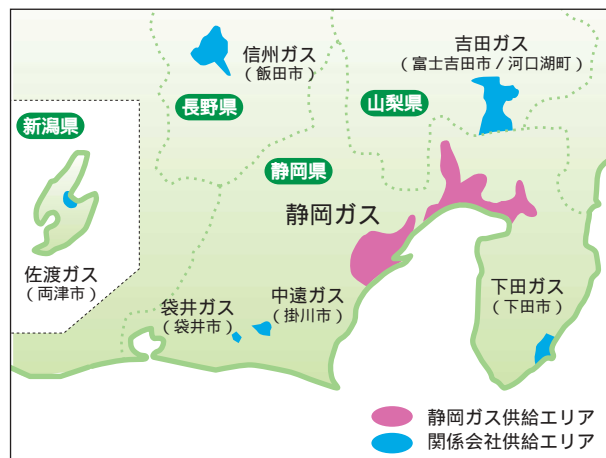
会社名	静岡瓦斯株式会社
本店所在地	静岡市八幡一丁目5番38号
創業年月日	1910年(明治43年)4月16日
資本金	4,183百万円
発行株式総数	70,692,950株
従業員数	697名

事業所

本社	静岡市八幡1-5-38
静岡支店	静岡市八幡1-6-1
清水支店	清水市江尻台町22-33
富士支店	富士市伝法3691-9
富士宮支店	富士宮市錦町2-23
沼津支店	沼津市西条町17-6
三島支店	三島市清住町2-8
導管・保安センター	静岡市八幡1-6-1
料金事務センター	静岡市八幡1-6-1
静岡工場	静岡市池田28
吉原工場	富士市蓼原1146-1
熱量変更センター	静岡市池田28
小笠山事業所	掛川市下俣625-1
総合技術研究所	静岡市池田28
研修センター	清水市永楽町14-50

役員		
代表取締役会長	大石 繁	
代表取締役社長	大石 司朗	
専務取締役	鈴木 斌夫	岩崎 清悟
常務取締役	上野 健二郎	石川 順哉
	澤村 潔	
取締役	浅井 一省	森田 和人
	佐塚 一仁	宮坂 広志
	曾根 真人	戸野谷 宏
	杉山 寛	湯原 章郎
	酒井 次吉郎	原田 豊次
	宮村 惣三郎	
常勤監査役	河合 静雄	
監査役	田部井 正己	加藤 明徳

静岡ガス・グループ供給エリアMAP



株主メモ

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
配当金受領株主 確定日	利益配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-3323-7111
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式数	1,000株
証券コード	9543

静岡ガス株式会社

〒422-8688 静岡市八幡1-5-38
TEL 054-284-4141(代表)
<http://www.shizuokagas.co.jp/>